

## 平成 31年度子育て連活動の振り返り

### 1. 各単子の活動（運営）についてお聞かせ下さい。

①今年度の切り替わり時、前役員との引継ぎ方法、工夫をしている点、又は苦労した内容等

・各地区の回覧板をなくし、グループLINEにて回覧書類を回すようにした。

・役員間で事前にLINE等で話を進め、定例会で集まる日や時間を少なくした。

・地区の行事がとても多く夏休み前後は特に毎週のようにイベントがあったので、

役員メンバーの負担が大きかった。

・後任の役員探し

・引継ぎ時、各役割が新旧同士で話し合いを行い、子育て連・地区イベントなど詳細を確認しました。その後、過去の資料などをみてもわからない箇所があった際には、LINEにて全役員さんに確認を行っていた。過去の役員経験者がいた為、その方の意見・乾燥などを参考にしました。

・初めて総会・定例会に参加したので、年度初めの頃は全体の流れが掴めず、分からないまま言われる通り、受け身で行ってしまっていた。

・特に苦労はありませんが、運営委員会、定例会に半日拘束されることは知らず、始まってみて時間のやりくりが大変でした。

・書記:活動報告等、前年度の仕事がまだ残っている中引き継ぎを受け、今年度も名簿作成等しなければならず。メールでのやりとりが重なると煩雑になってしまい混乱がおきるので、新たにUSBを購入してデータのやり取りを行い、スムーズにすることができた。

・前年度までの引き継ぎがかなり簡潔だったため分からないことが多かったよう。前年度役員が詳しい引き継ぎ書を作成してくれた為、参考になりとても助かった。

・今年度の切り替わりのときは、お互い前年度の方と連絡先の交換をして、わからない時など、相談したりしました。

・地区の行事と子育て連の行事の進行具合が重なる時があり、忙しかったです。

・例年通り、最後の上町子ども会イベント終了後、そのまま引継ぎしました。

・上町子ども会役員全体としての引継ぎ、各役割毎の引継ぎを行いました。

・子ども会の回覧はお互いの家が遠い為、基本的に連絡はグループラインです。

・引継ぎはローテーションしている。

・必ず6年生の親が役員になる。引継ぎは、3回位に分けて、行う。皆さんで協力してやって頂いています。

・子供会に入会している世帯が少ないため、出来る限り集まってもらい、来年度（令和2年度）の会長、副会長、校外を決めました。  
令和3年度、令和4年度も仮ではありますが、誰になるかを決めました。先に決める事で皆さん予定が立てやすくなりました。

・各地区の回覧板をなくし、グループLINEにて回覧書類を回すようにした。

・役員間で事前にLINE等で話を進め、定例会で集まる日や時間を少なくした。

・地区の行事がとても多く夏休み前後は特に毎週のようにイベントがあったので、役員メンバーの負担が大きかった。

・前年度の方から過去2年分のファイルを受け取り、説明を受ける。

・会長用、各行事毎のUSBと資料をそれぞれ受け取り。今回役員になる世代がイベントへの参加経験が少なく、どんなイベントなのかわからないというケースが目立ったが、第二子のお母さんなどに聞くことが出来、なんとか運営できた。

・子ども会会員数が減少しつつあり、地域のイベントに必要な人数を揃えるのに苦労した。

・梅沢子ども会役員定例会（昨年度年10回開催）〇回は集まらずラインで開催し役員の負担軽減に繋がった。

・マチコミを導入し、回覧板を極力使わないで済むようにした。

・前年度の引継書類が綴られていなかったり、口頭での引継だったのでわからない事が多く大変だった。

・今年度は次年度の役員との円滑な引継をしたいので、詳しくメモを残すことやプリント等を綴った。

・引継ぎの日時を決め、新旧役員が集まって、前役員さんが作成した資料を元に話し合いました。

・資料を読んだだけでは分からない事も多かったため、その都度前役員さんに確認していました。

・初めての子供会役員につき、前役員さんへ都度確認をし、アドバイスをもらい進めてきた。自治会行事に関してこちらのお手伝いもあり、人数の少ない役員名だけに、負担が大きい。

## ②子育ての行事に対して各単子で負担を軽減させる工夫をしている内容。又は苦労した内容

・他の単子役員さんと知り合えたこと。

・お手伝いスタッフを探すのにとっても苦労した。自宅に依頼のお願いをしに行った。

・単子内で子育て連担当を設けることで他の役員の負担は減る一方、子育て連担当が一人で対応せざるを得ない事も多かった。

・今年度は仕事や家庭の予定などで都合がつかない方がいても担当を代わったりした為、協力的に行えたと思います。

苦労した点は、子供会入会者自体が減少している中で、保護者の協力を仰がなくてはいけない時に、お仕事などで予定があり協力できないとの回答が多く、結局は役員が対応する状況でした。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育連の行事に関しては前年度までレクリエーション、今年度がミニミニノミヤを担当したため、負担の内容は比較ができないため、とくに記載すべき点はありません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信をスタートさせ、配布の負担軽減、印刷代の削減になった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育連の研修会は、会長、副会長以外の役員にも順番に参加してもらうことで、負担軽減できた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、役員の数が多かった為、振り分けして行う事ができたが、人数が少ない年などは、大変かもしれないです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に担当の2名が子育連定例会に出席していますが、都合がつかない時でも内容を引継ぐことが難しく、無理して出席しなければならないことがありました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数がいらないに等しいので、子育連活動を他の地区と同じように活動していくのは正直厳しいと感じました。 (川勾、押切 来年の児童数9名)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は6年生4名いたのでリーダーを出せましたが、来年度はリーダーは5年生1名のみ。しかも進んでではないのが心配…。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく会長が話をまとめ、必要な時だけ皆さんの力を借りた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長、副会長共に父親であり、子育連の仕組みを理解出来ておらず、当初は戸惑いました。参加する事で徐々に理解出来ました。当初は定例会の終了時刻がよく分かっておらず、定例会がある日の午後は他の予定を入れる事が出来ず、苦労しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いスタッフを探すのにとっても苦労した。自宅に依頼のお願いをしに行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長副会長以外の役員の負担を減らす為、野外を選択。 会議は会長副会長の3人でローテーションで参加することで負担の軽減を図った。 後半は地域の会議に毎回参加する会長の負担を減らす為、副会長が交代で出席。 けれど、キャンプについては当日参加する人でないと、という部分があり、同じ人が必須で参加するとなると回数が非常に多いと感じた。交代で参加出来るとありがたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単子が負担軽減できないようにしているのは、子育連本部！是非、単子の経験者を本部役員に入れてください！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事との両立が難しい時もあり、時間が作れず苦労しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ交替で定例会に出席したりしました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく役員負担が偏らないように、仕事を振り分けるようにしました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当はレクリエーションだったので、本部の仕事と地区での仕事を両方把握し、他の役員へ仕事内容を伝える為の資料作成等が大変でした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に会長は配り物を始め、次期リーダーの保護者へ確認をもらう等の対応に追われ、人数の少ない地区は大変。簡略化できる場所は働く方にとっても助かると思う。 指名委員も担当したが、とにかく人材がいなく、探すのが大変だった。</li> </ul>
<h2>2. 子育連の活動、行事に参加しての感想（良かった点、気になった点の改善案など）</h2>
<p>（良かった点）</p>

・周りの地区の方々と交流が持て、情報交換ができたことはよかった。

・他の単子役員さんと知り合えたこと。

・大きな行事の運営スタッフとして多少なり携わり、達成感を味わうことができた。

・野外活動への参加は、自分の人生経験にとてもプラスになった。  
自分の子供は参加できなかつたが、逆に変な気を使ったりせず良かったように思います。  
今後経験する可能性がなかつたかもしれないPAA・野外炊事・ゲームなど、子供のころに感じて思ったことや  
思った事など、大人になってから忘れていた感情などを思い出す事ができ、子供たちにも今回の野外活動で感じ  
た気持ちは中学生になつても忘れずにいてほしいと思う体験でした。

・ミニニノミヤでは、子ども達が本当にやりたいことを自発的にやっていて、例年に比べ各個人の達成感は大き  
かったのではないかと推察します。ブースを担当し、一つのを子ども達と作り上げ本番と一緒に経験できて  
楽しかったです。

・ミニニノミヤが今年度初の試みであったが、とても良かった。ぜひ来年も続けて欲しい。

・他の地区の方々と親しくなれたので、とても良かったです。また、他の地区の回覧方法（回覧をラインで送  
る）が知れて活用出来たらとても楽になると感じました。

・上町はミニニノミヤ担当でした。初めてのイベントでどうなることかと思いましたが、本部の方が頑張ってく  
ださつたので負担は少なく無事に終えることができました。

・知り合いが増え、子育てしているのは自分だけではないと思えたこと。

・子育て連の活動を初めて知り、他の単子さんとも交流できて良かった。二宮のことを知れ、子育て連の活動を  
知れ、感謝してます

・真剣な大人に出会う事が出来ました。子供達の為にという共通の目標があり一緒に協力する事が出来ました。

・周りの地区の方々と交流が持て、情報交換ができたことはよかった。

・大きな行事の運営スタッフとして多少なり携わり、達成感を味わうことができた。

・町内の別の小学校に通う子供たちが知り合える機会はとても良いと感じました。中心となって活動されている  
方々の頑張りに本当に感謝です。

・回覧板の電子化など、百合ヶ丘さんのお話を聞いたのはありがたかったです。それを参考に梅沢地区でもマチ  
コミを導入しとても負担が軽くなりました。

・担当の方々は準備の段階から頑張ってもらったのに、個々の事情などで地区の子供達の参加が少なく残念に思  
いました。

・レクレーション大会の悪天中止は残念でした。参加予定の子供達も残念がついてた。次年度からは開催しない  
のも子供達はさみしがっていました。（大変だけどやっぱりやってあげたいと思う）

・私の子供が子どもリーダーを務めているのですが、始めは全く乗り気では無かつたキャンプや、子ども会祭  
りの準備を楽しんでいる様子を見て、私も子育て連の活動をやってみて良かったと思いました。

・子供達の笑顔をみるために何をするべきか、何が出来るべきかと改めて考えたこと。  
残念ながら担当であったドッジボール大会は雨により中止となってしまつたが、親同土  
のキズナお深まつたと思う。  
ドッジボールetc 運動系は低学年、高学年問わず人気があり、単子同士の交流も得れると思う。

(気になった点の改善案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプやミニノミヤは子ども達の満足度は高い一方、役員の負担は大きく、家事や育児・</li> </ul>
仕事に支障をきたす方もいらっしゃるかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育連は子ども会の連携を図る組織として情報交換の場とし、キャンプやミニノミヤは</li> </ul>
開催実行委員会を立ち上げ、独自に運営されるのも一案かと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な子供がいる班と、おとなしい子供が集まった班の偏りを感じました。おとなしい班はグループ内での話し合いがなかなか進まなかったりしたので、申込書の中に、親が子供の性格を短く簡単にでも書いてもらい、班分けの参考にしてもよいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニノミヤの試みが子ども会会員数の増加につながるしくみが今後あれば良いなと思いました。例えば付き添いの保護者に各単子が子ども会の紹介出来るような場を作るとか…地域で子育てをする上で子ども会は本来とても良いしくみとは思っていますが、なかなか保護者に伝わり切らず(会員数の減少と)←?ミニノミヤは会の楽しさ(係る保護者も一緒に楽しめる)を伝える絶好の機会ではないでしょうか</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会にて、アイスブレイクのやり方などを教わったが、なかなか活かせなかった。他地区の昨年の活動の紹介などの方が参考になってよい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員交流会はらない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会の拘束時間が長い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の配布の仕方の不備がもう少し減ると良いかと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦委員は来年本部さんが無事に決定して良かったですが、秋から年明けまでの間が意見言えるような状況ではなかったのと、本部が決まらない場合は委員の中から選出するというのが理解できませんでした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単子の子供の人数が減っている所、子供リーダーを出せなくなるかもしれない単子はこれからどうなるのでしょうか?</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員の方の負担が大き過ぎると感じました。本部役員の方の犠牲で成り立っていると感じる事もありました。本部役員の方には感謝しかありません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の重要な伝達事項は文字におこしてデータ配信して下さると確実に伝わると感じます。回覧物、提出物、その期限など。子供会の勧誘方法や校外さんとの連携の仕方など、他の単子さんとお話をもっと出来たらいいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外のスタッフは夜間それほど人数はいらないと感じました。宿泊人数を減らし日帰りスタッフを増やすと、子どもがいてもスタッフとして参加しやすいと思います。</li> </ul>
とにかく、去年度から進歩のないことにうんざり!
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクレーション大会でのスタッフに地区の体育指導員・青少年指導員が不参加だった為、審判を確保出来なかった。子育連から各委員に協力依頼を年初に声かけしてもらいたい。又、開催日は協力してもらえるように予定を空けておいて欲しい。</li> </ul>

・定例会の度に提出物や各地区への回覧や配付物、連絡事項等、想像以上に子育連の仕事が多いと感じました。マチコミを活用する等、地区役員を通さなくても、会員の方にダイレクトに伝える事が出来れば、このような負担が減るのではないかと思います。

・とにかく集まりが多く、1度の会議時間が長い。  
各单子との情報交換があまりできていない。→本部からの発信がメイン。  
→短い時間で集中して話し合いができ、各单子との情報交流ができるのが良い。

## その他

・土日祝日、夕方遅くまで仕事している保護者などが増えているし、役員を掛け持ちで担当されている方もいらっしゃるかと思います。  
参加される方々が子供たちの為に今後も負担なくやっていける子育連であってほしいと思います。  
本部役員の皆様、1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

・他の子ども会の近況や工夫していることなどを知りたい。何個かにグループ分けして懇談会などできたら良い。

・情報の周知がされていないことがあり、混乱が生じた。もう少し徹底してほしい。

・高山村へのキャンプを町が行っているが、子育連のキャンプをそちらに移行してはどうか。町と共同でやれば負担が減るのではないかと。事業の一本化をすれば、本部も単子の負担も減るのでは。

・子祭りの開催時期は2月が適正なのか。単子でも検討してみたが良い案は浮かばなかった。

・ニーノ(紙幣)はまた来年も使えるのか?と保護者からの問い合わせが多かった。

・銀行は一つではなく、支店があっても良いのでは。並び方や場所等改善の余地あり。

・ただでさえ単子役員を決めるのに苦労しているのに、本部の役員まで探すというのがかなり負担であった。そもそも推薦委員のあり方がよくわからず、スタートが曖昧でライン上で委員長についてのやりとりがなされ正直困った。

・推薦委員になったからといって、自分の地区から出さなきゃいけない訳ではないなら、全地区からこんな人がいるけどどうかと、提案してもらえるような形にできたらいいと思う。

・大きな行事を成功させる為、見えない所、お忙しい中私達単子を支えてくださり有難うございました。行事で子供達の笑顔を見る事が出来、私たちも良い思い出ができました。